

種雄牛「葵安花」廃用のお知らせ

当該種雄牛は、母牛に当時の BMS ナンバー県内推定育種価 1 位の「ひさおほたか」を持ち、父である葵白清に関しても当時の BMS ナンバー県内ゲノム育種価 1 位という、非常に優れた血統構成であり、大いに期待される種雄牛でした。

しかしながら現場後代検定の結果を鑑みるに、当県の改良方針とは合致しない結果となりましたので、廃用に至りました。